



高原町 町勢要覧

(資料編)

高原町町制施行85周年記念事業

令和2年3月作成

もくじ

高原町の自然・位置・アクセス	・・・ 1 P
高原町のイベント	・・・ 2 P
高原町の観光地及び観光施設	・・・ 3 P
高原町の人口統計	・・・ 4 P
高原町の生活環境	・・・ 9 P
高原町の消防・防災・防犯	・・・ 10 P
高原町の保健（険）・福祉・医療	・・・ 11 P
高原町の産業	・・・ 12 P
高原町の学校教育・社会教育	・・・ 14 P
高原町の文化財	・・・ 15 P
高原町の議会	・・・ 16 P
高原町の行財政	・・・ 18 P
高原町の主なあゆみ	・・・ 22 P
高原町民憲章	・・・ 30 P

高原町マップ

【沿革】

江戸時代は高原郷と呼ばれ、薩摩藩の支配下にあったが、明治維新後の廃藩置県により鹿児島県・都城県を経て宮崎県に属した。明治22年の町村制で麓・広原・蒲牟田・後川内の4村が合併して高原村となり、昭和9年に高原町となった。



高原町の自然・位置・アクセス

【地勢】

高原町は宮崎県の西南部、霧島錦江湾国立公園を境に鹿児島県と接する自然に囲まれた静かな山あいに位置しています。霧島連山からの豊富な水、活火山との共生、高原の神舞など「神武の里」伝説が数多く残る町です。

【気象】平成30年

年間降雨量は2547.5mm、平均気温は16.9℃と温暖な気候に恵まれています。

資料：気象庁ホームページ 観測地点：小林市

【位置】

役場の所在地

〒889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地
北緯31度55分42秒、東経131度0分28秒 海拔211m

【地目別面積】

(単位：ha、%)

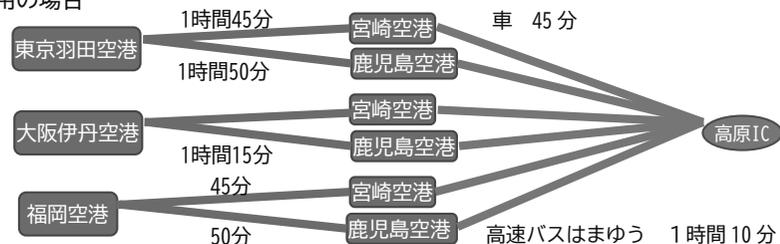
区分	地目 総面積	農用地		森林		宅地	その他
		田	畑	国有林	民有林		
面積	8,539	949	1,459	2,008	2,194	459	1,470
構成比	100	11.1	17.1	23.5	25.7	5.4	17.2

資料：宮崎県統計年鑑（宮崎県統計調査課）

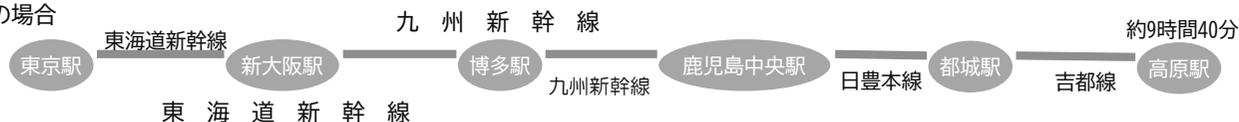
※国土交通省国土地理院令和元年10月1日時点における全国都道府県市区町村別面積調による本町の面積は、85.39平方キロメートルです。

高原町へのアクセス

飛行機利用の場合



電車利用の場合



自家用車・レンタカー利用の場合



高原町のイベント

- 高千穂峰山開き 4月第2日曜日
- 御田植祭（棒踊り・奴踊り） 5月16日
- 神武の里総合武道大会 5月第2日曜日

春



- まつり高原 8月第1日曜日
- 後川内まつり 8月14日

夏



- 神武の里たかはる秋まつり 10月末の日曜日
- 霧島登山マラソン 10月第2日曜日

秋



- 狭野神楽（高原の神舞） 12月第1土曜日
- 祓川神楽（高原の神舞） 12月第2土曜日
- 日本発祥地まつり 2月11日
- 苗代田祭（ベブがハホ） 2月18日

冬



高原町の観光地及び観光施設

高千穂峰

天孫降臨の神話が残る標高1,574mの登山可能な山です。山頂には「天逆鉾」が建てられています。

御池

約4600年前に大噴火によって生まれた湖で周囲4.3km、水深103mあり日本の火山湖では最も深い湖です。

祓川湧水園

霧島山の恵みを受けた水が豊富に湧き出る高原町の中でも代表的な湧水地です。

御池野鳥の森 御池キャンプ村

日本で4つしかない環境省に指定された国立公園内にある「野鳥の森」は四季折々の野鳥を150種類も観察できます。また、御池の湖畔にあるキャンプ場は、BBQやキャンプファイヤなどアウトドアを楽しむことができます。



高千穂峰と御池

たかはる清流ランド

透明で清らかな水が流れ、家族で楽しめる自然河川公園です。上流にある滝は絶好の納涼スポットです。

皇子原公園

日向神話を展示する「神武の館」、古墳群をはじめヒガンバナや桜が見れる自然公園です。施設内には溪流釣り場やコテージなど宿泊施設も完備しています。

登山

- ・天孫降臨コースで高千穂峰
- ・九州自然歩道の二子石コースで高千穂峰
- ・標高1,131mを目指す矢岳コース



たかはる清流ランド

【観光客】

(単位：人)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
観光客数	900,619	1,008,194	969,132	857,884	793,297
宿泊者数	12,751	13,827	13,198	14,034	16,118

資料：観光入込客統計調査

高原町の人口統計

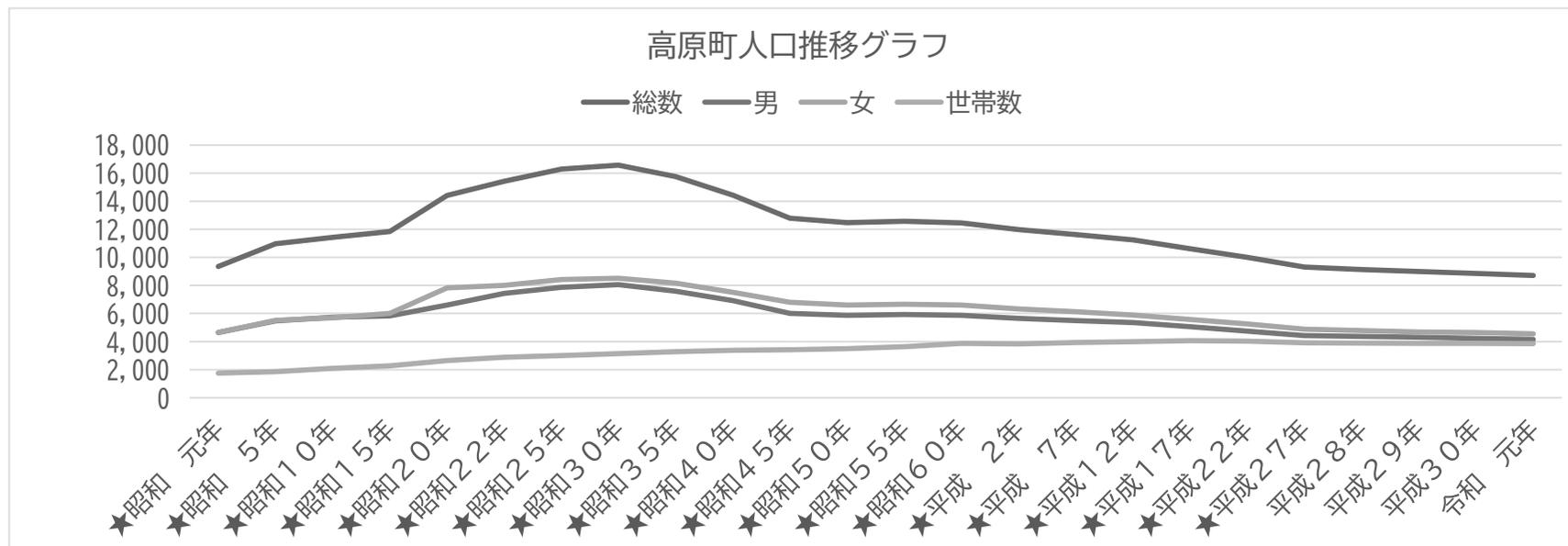
【人口と世帯】

人口は、昭和30年をピークに減少しています。

世帯数は、平成17年まで増加していましたが、それ以降は減少しています。

年次	人口(人)			世帯数(戸)	年次	人口(人)			世帯数(戸)	年次	人口(人)			世帯数(戸)
	総数	男	女			総数	男	女			総数	男	女	
★昭和 元年	9,347	4,637	4,637	1,754	★昭和35年	15,751	7,580	8,171	3,279	★平成12年	11,254	5,361	5,893	3,989
★昭和 5年	10,972	5,464	5,508	1,863	★昭和40年	14,435	6,923	7,512	3,368	★平成17年	10,623	5,049	5,574	4,063
★昭和10年	11,423	5,735	5,688	2,085	★昭和45年	12,798	6,003	6,795	3,409	★平成22年	10,000	4,743	5,257	4,030
★昭和15年	11,837	5,835	6,002	2,278	★昭和50年	12,476	5,877	6,599	3,498	★平成27年	9,300	4,428	4,872	3,914
★昭和20年	14,419	6,602	7,817	2,650	★昭和55年	12,579	5,924	6,655	3,629	平成28年	9,139	4,358	4,781	3,894
★昭和22年	15,420	7,425	7,995	2,886	★昭和60年	12,455	5,862	6,593	3,866	平成29年	8,989	4,303	4,686	3,871
★昭和25年	16,289	7,867	8,422	3,012	★平成 2年	11,984	5,653	6,331	3,829	平成30年	8,859	4,220	4,639	3,871
★昭和30年	16,567	8,056	8,511	3,140	★平成 7年	11,619	5,491	6,128	3,932	令和 元年	8,709	4,157	4,552	3,851

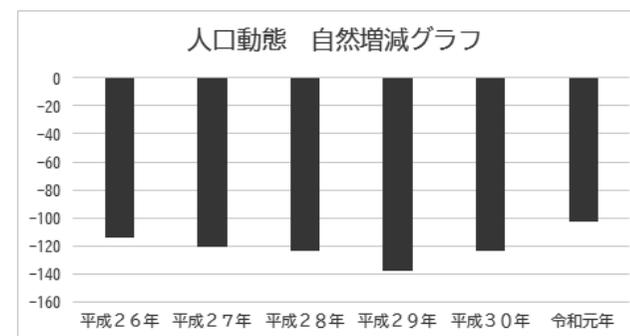
※★印のついているものは国勢調査参照。★印以外は10月1日現住人口 ※人口総数には年齢不詳を含む。



【人口動態】

《自然増減：出生・死亡》 1月1日～12月31日まで

年次	出生			死亡			自然増減
	計	男	女	計	男	女	
平成26年	65	30	35	179	84	95	-114
平成27年	47	29	18	168	78	90	-121
平成28年	49	26	23	173	87	86	-124
平成29年	48	29	19	186	95	91	-138
平成30年	38	23	15	162	82	80	-124
令和元年	49	25	24	152	69	83	-103



《社会増減：転入・転出》 1月1日～12月31日まで

年次	転入				転出				社会増減
	計	県内	県外	その他	計	県内	県外	その他	
平成26年	273	170	103	0	358	242	116	0	-85
平成27年	271	176	93	2	321	190	126	5	-50
平成28年	280	195	85	0	323	206	116	1	-43
平成29年	279	191	87	1	283	206	75	2	-4
平成30年	298	195	100	3	287	171	111	5	11
令和元年	240	149	85	6	287	176	107	4	-47

資料：現住人口調査

【年齢3区分人口及び構成比】

年度	総数	年少人口（0～14歳）				生産年齢人口（15～64歳）				老年人口（65歳～）			
		総数	男	女	構成比	総数	男	女	構成比	総数	男	女	構成比
平成17年	10,623	1,340	729	611	12.6	5,899	2,938	2,961	55.5	3,382	1,381	2,001	31.8
平成22年	10,000	1,152	625	527	11.5	5,495	2,785	2,710	55.0	3,351	1,331	2,020	33.5
平成27年	9,300	997	528	469	10.7	4,843	2,455	2,388	52.1	3,460	1,445	2,015	37.2
平成28年	9,139	1,016	541	475	11.1	4,638	2,344	2,294	50.7	3,485	1,473	2,012	38.1
平成29年	8,989	1,006	542	464	11.2	4,465	2,251	2,214	49.7	3,518	1,510	2,008	39.1
平成30年	8,859	1,006	536	470	11.4	4,318	2,174	2,144	48.7	3,535	1,510	2,025	39.9
令和元年	8,709	978	526	452	11.2	4,146	2,087	2,059	47.6	3,585	1,544	2,041	41.2

※総数には年齢不詳を含む。

資料：平成17年から27年までは国勢調査、平成28年から令和元年までは現住人口調査

【地区別人口】

区名	平成17年				平成22年						平成27年					
	総数	男	女	世帯数	総人口		性別		世帯		総人口		性別		世帯	
					総数	比較(対平成17年)	男	女	世帯数	比較(対平成17年)	総数	比較(対平成17年)	男	女	世帯数	比較(対平成17年)
花堂区	430	207	223	170	396	△ 34	188	208	163	△ 7	362	△ 68	182	180	153	△ 17
蒲牟田区	536	271	265	218	520	△ 16	260	260	211	△ 7	439	△ 97	220	219	188	△ 30
北狭野区	350	174	176	135	320	△ 30	153	167	131	△ 4	282	△ 68	140	142	127	△ 8
南狭野区	401	186	215	156	358	△ 43	162	196	155	△ 1	317	△ 84	143	174	150	△ 6
祓川区	178	86	92	78	162	△ 16	76	86	77	△ 1	145	△ 33	66	79	67	△ 11
湯之元区	424	169	255	128	368	△ 56	141	227	125	△ 3	352	△ 72	151	201	124	△ 4
中平区	191	89	102	83	195	4	91	104	80	△ 3	165	△ 26	80	85	76	△ 7
上後川内区	610	296	314	228	558	△ 52	275	283	207	△ 21	525	△ 85	259	266	205	△ 23
下後川内区	442	214	228	153	411	△ 31	198	213	154	1	367	△ 75	177	190	147	△ 6
川平区	84	39	45	39	78	△ 6	38	40	37	△ 2	63	△ 21	32	31	33	△ 6
西広原区	352	163	189	142	330	△ 22	161	169	135	△ 7	305	△ 47	150	155	135	△ 7
上広原区	503	234	269	192	482	△ 21	226	256	205	13	464	△ 39	216	248	204	12
下広原区	975	482	493	342	908	△ 67	452	456	323	△ 19	840	△ 135	410	430	326	△ 16
上麓区	1,073	486	587	460	1074	1	487	587	479	19	1061	△ 12	485	576	461	1
下麓区	838	380	458	339	757	△ 81	351	406	324	△ 15	724	△ 114	343	381	321	△ 18
出口区	661	330	331	260	634	△ 27	307	327	266	6	560	△ 101	276	284	260	0
鹿見山区	625	323	302	239	625	0	319	306	243	4	526	△ 99	261	265	228	△ 11
並木区	1,628	761	867	599	1545	△ 83	721	824	620	21	1547	△ 81	716	831	605	6
小塚区	120	54	66	51	93	△ 27	41	52	46	△ 5	83	△ 37	33	50	42	△ 9
常盤台区	202	105	97	62	186	△ 16	96	90	61	△ 1	173	△ 29	88	85	62	0

資料：国勢調査

【50年前の高原町】

基礎集落名	集落名	集落人口	集落世帯	基礎集落名	集落名	集落人口	集落世帯	基礎集落名	集落名	集落人口	集落世帯
麓	花堂	373	121	狭野	祓川	278	82	広原	下広原	463	125
	下川原	32	8		湯之元	332	118		安丸	50	12
	佐土	80	17		狭野	784	227		三福神	357	88
	水源地	40	11		皇子1	93	23		鳩取山	142	34
	上村移	188	49		中平	126	36		上村1	31	7
	下村移	115	31		小塚	174	40		広原	392	112
	上川原	27	6		川原口	54	15		千反原	121	28
	御納戸	125	23		皇子2	53	6		今房	65	16
	蒲牟田	619	167		西大谷	49	13		入佐	156	35
	麓	3,456	981		小計	1,943	560		上平	314	83
	馬登	169	41		後川内	霞原	47		12	竹広	20
	出口	429	117	吠		24	6		上村2	16	4
	横折	234	51	後川内		872	218		小計	2,127	550
	木場谷	93	19	地蔵原		128	27				
	湯之崎	98	28	奥		116	22				
	鹿児山	392	89	小岩屋		134	26				
	越	260	71	温水平		156	29				
	後谷	54	17	東原		77	17				
	尾野	51	14	川平		117	26				
	倉掛	24	6	下川平		50	10				
	旭台	103	25	小計		1,721	393				
	岩内	32	10								
	瀬口	13	4								
	小計	7,007	1,906								

昭和45年	集落人口	集落世帯
合計	12,798	3,409

資料：昭和45年国勢調査（1971年（昭和46年）高原町総合計画より転載）

【産業別就業者（15歳以上）人口】

区分	平成7年		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
	総数 (人)	構成比 (%)								
	6,110	100	5,708	100	5,467	100	5,037	100	4,653	100
第1次産業	1,913	31.3	1,636	28.7	1,613	29.2	1,396	27.7	1,144	24.59
農業	1,884	30.8	1,620	28.4	1,595	0.3	1,359	27.0	1,111	23.88
林業・狩猟業	25	0.4	13	0.2	14	0.1	36	0.7	30	0.64
漁業・水産養殖業	4	0.1	3	0.1	4	24.6	1	0.0	3	0.06
第2次産業	1,801	29.5	1,586	27.8	1,344	0.1	1,112	22.1	987	21.21
鉱業	20	0.3	17	0.3	7	10.8	7	0.1	3	0.06
建設業	768	12.6	809	14.2	590	13.7	429	8.5	381	8.19
製造業	1,013	16.6	760	13.3	747	45.7	676	13.4	603	12.96
第3次産業	2,395	39.2	2,485	43.5	2,500	11.9	2,515	49.9	2,514	54.03
卸売・小売業	760	12.4	708	12.4	650	0.9	604	12.0	513	11.03
金融・保険業	63	1.0	51	0.9	51	0.3	53	1.1	54	1.16
不動産業	8	0.1	11	0.2	16	2.6	26	0.5	20	0.43
運輸・通信業	184	3.0	176	3.1	141	0.1	162	3.2	159	3.42
電気・ガス・水道業	16	0.3	13	0.2	3	26.9	12	0.2	5	0.11
サービス業	1,173	19.2	1,306	22.9	1,468	3.1	1,496	29.7	1,582	34
公務	191	3.1	220	3.9	171	0.2	162	3.2	181	3.89
分類不能の産業	1	0.0	1	0.0	10	0.0	14	0.3	8	0.17

資料：国勢調査

【農家人口と農業就業人口】

	農家人口			農業就業人口		
	総数	男	女	総数	男	女
昭和55年	8,024	3,864	4,160	3,462	1,489	1,973
昭和60年	7,362	3,550	3,812	3,233	1,408	1,825
平成2年	6,613	3,245	3,368	2,696	1,191	1,505
平成7年	5,816	2,876	2,940	2,280	1,030	1,250
平成12年	5,318	2,624	2,694	2,036	1,018	1,018
平成17年	2,435	1,308	1,127	1,709	852	857
平成22年	2,724	1,387	1,337	1,472	772	700
平成27年	1,960	1,011	949	1,141	625	516

資料：国勢調査

高原町の生活環境

【町営住宅（公営住宅）】

(単位:戸)

団地名	建設年度	構造	管理戸数
柳町団地	昭和44年	簡耐平屋	10
二葉町団地	昭和45・50年	簡耐平屋	24
下村移団地	昭和51・52年	簡耐平屋	12
鹿児山団地	昭和53・57・58・61年	簡耐平屋、簡耐・木造2階	58
並木団地	昭和55・56年	簡耐2階	26
後川内団地	平成7・12年	木造平屋	12
霧島団地	平成14・18年	鉄筋コンクリート4階	64
合計			206

【町営住宅（定住促進住宅）】

(単位:戸)

団地名	建設年度	構造	管理戸数
広原定住促進住宅	令和元年	木造平屋	2
合計			2

資料：建設課

【道路の整備状況】

H31.4.1現在

	路線数	実延長(km)	改良済		舗装済		
			延長(km)	改良率(%)	延長(km)	舗装率(%)	
一般国道	2	12,033	12,033	100	12,033	100	
県道	6	35,003	24,653	70	35,003	100	
町道	1級町道	15	33,331	32,386	97	33,331	100
	2級町道	20	32,585	21,853	67	32,585	100
	その他	482	238,082	131,815	55	220,808	92.7
合計	525	351,034	222,740	63	333,760	95.1	

資料：建設課

【公共交通】

J R吉都線（吉松駅～都城駅）

※町内には高原駅と広原駅の2か所の駅があります。

乗合タクシー

後川内線（東原～ほほえみ館） 火曜日・金曜日・土曜日 1日2往復

小久保線（小久保～ほほえみ館） 月曜日・木曜日 1日1往復

湯之元蒲半田線（川原口～高原（高鍋信金前）） 水曜日・土曜日 1日1往復

常盤台線（常盤台公民館前～高原（高鍋信金前）） 月曜日・木曜日 1日1往復

※常盤台線は全線予約型のデマンド方式です。

路線バス（都城小林線）

※町内には、馬登、高原、後谷の3か所の乗り場があります。

広域的バス路線

高原役場線（小林駅～広原～高原町役場前） 1日1往復

祓川線（小林駅～広原～高原町役場前～祓川） 1日3往復

高速バス

※町内には、鹿児島～宮崎間を結ぶ「はまゆう号」のバス停留所が1か所あります。

資料：総合政策課

【BTVケーブルテレビの加入】

2009年に西諸局が開局し、2011年7月より町民の視聴が可能となりました。

2019年3月現在インターネットアクセス1,322世帯（34.4%）、ケーブルテレビ1,639世帯（42.7%）が加入しています。

【水道施設の状況】

区分	施設数
町営上水道	1
飲料水供給施設	2
総数	3

※平成31年4月1日現在

資料：上下水道課



高原町の消防・防災・防犯



西諸広域中央消防署高原分遣所

職員：17名 救急車：1台 水槽付ポンプ車：1台
広報車：1台

高原町消防団本部

団長1名 副団長2名 本部団員9名

消防施設等

ポンプ車 8台 資機材車 1台 可搬動力 6台
消火栓253か所 防火水槽（40トン以上）106か所



消防団中央部
団員15名



消防団第1部
団員15名



消防団第2部
団員15名



消防団第3部
団員26名



消防団第4部
団員26名



消防団第5部
団員20名



消防団第6部
団員15名



消防団第7部
団員26名

【事故種別救急出動状況】

(単位：件)

区分 年次	火 災	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他	合 計
平成26年	1	0	35	2	2	62	4	4	198	83	0	391
平成27年	0	0	32	1	7	64	1	7	220	77	1	410
平成28年	2	1	45	1	3	57	1	6	262	76	0	454
平成29年	1	1	36	3	2	62	1	10	248	60	6	430
平成30年	0	0	35	9	2	62	0	4	272	47	3	434

※ 高原分遣所の出動

資料：西諸広域行政事務組合（消防年報）

【火災発生状況】

(単位：件)

区分 年次	建物	林野	車両	その他	合計
平成26年	3	1	1	2	7
平成27年	1	0	1	0	2
平成28年	7	1	2	2	12
平成29年	5	1	0	3	9
平成30年	5	0	1	2	8

※ 高原分遣所に関する火災

資料：西諸広域行政事務組合（消防年報）

小林警察署高原駐在所

駐在所員2名 場所 宮崎県西諸郡高原町大字西麓872番地1

交番の役割

交番や駐在所は、地域住民の身近な所にあり、警察官が勤務し、地域住民の皆さんの暮らしの安全を守る活動をする拠点です。交番は、主として都市部に置かれ、警察官が交替で警戒活動を行っています。駐在所は、原則として1人の警察官が家族と共に地域に居住し、地域の安全を守る活動を行っています。

高原町の保健（険）・福祉・医療

【町内医療施設】

病院		一般診療所		歯科医院
施設数	病床数	施設数	病床数	
1	56	3	17	3

※平成31年4月1日現在

資料 ほほえみ館

【国民健康保険高原病院】

(単位：人)

職員数				病床数	平成30年度1日平均	
総数	医師	看護・准看護師	その他		入院患者数	外来患者数
86	4	42 (11)	40 (25)	56	37.9	116.3

※平成31年4月1日現在。()内は、臨時・パート職員数

資料：国民健康保険高原病院

【国民年金加入状況】

(単位：人)

区分 年次	被保険者				保険料免除者					付加年金加入者		
	総数	第1号	任意	第3号	総数	法定	申請	学生	納付猶予	総数	強制	任意
平成26年	1,747	1,362	15	370	655	158	374	99	24	106	63	43
平成27年	1,605	1,224	12	369	589	163	307	93	26	93	55	38
平成28年	1,504	1,140	19	345	554	161	254	99	40	86	44	42
平成29年	1,400	1,066	16	318	507	156	208	110	33	73	37	36
平成30年	1,329	1,013	12	304	496	156	198	107	35	62	35	27

資料：都城年金事務所

【国民年金給付状況】

(単位：人・円)

区分 年次	老齢基礎年金		障害基礎年金		遺族基礎年金	
	件数	支給額	件数	支給額	件数	支給額
平成27年	3,172	2,257,176,783	294	255,157,650	11	9,041,400
平成28年	3,282	2,337,919,830	293	254,051,650	11	9,094,700
平成29年	3,378	2,395,708,366	289	250,703,925	14	11,295,601
平成30年	3,456	2,449,928,106	288	250,237,350	15	11,744,201

資料：都城年金事務所

【介護保険者数、給付状況】

(単位：人・円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
第1号保険者数	3,571	3,582	3,649	3,670	3,710
要介護認定者数	562	599	577	577	578
保険給付費	988,391,096	983,533,631	956,615,042	975,258,256	1,026,120,713

資料：介護保険事業報告年報

【国民健康保険加入状況】

(単位：世帯・人)

	世帯数	被保険者
平成26年度	1,926	3,291
平成27年度	1,843	3,088
平成28年度	1,797	2,981
平成29年度	1,729	2,850
平成30年度	1,709	2,744

資料：町民福祉課

【後期高齢者医療保険 被保険者数及び一人当たりの医療費】

(単位：人、円)

年度	被保険者数	医療費
平成26年度	2,165	852,000
平成27年度	2,151	847,584
平成28年度	2,133	804,168
平成29年度	2,111	827,232
平成30年度	2,058	833,736

資料：町民福祉課

【町内保育所数】

保育園（認可外含む）	こども園
5	2

資料：町民福祉課

高原町の産業

【町内総生産の推移】

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
町内総生産(百万円)	21,018	22,250	23,864	21,181	22,557
就業者数(人)	4,910	4,871	4,701	4,641	4,641
就業者1人あたりの総生産(千円)	4,291	4,568	5,076	4,564	4,860
第1次産業町内総生産(百万円)	2,061	2,010	2,581	2,925	3,414
第2次産業町内総生産(百万円)	4,130	5,910	7,640	4,156	4,228
第3次産業町内総生産(百万円)	14,686	14,269	13,612	14,248	15,036

資料：宮崎県の市町村経済計算（宮崎県統計調査課）

【経済活動の種類】

(単位：百万円)

経済活動の種類	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
農業	2,200	2,109	2,502	2,817	3,322
林業	77	100	75	104	86
水産業	4	4	4	4	7
鉱業	22	35	40	41	44
製造業	2,304	2,385	4,740	1,166	1,509
電気・ガス・水道業	533	588	504	747	831
建設業	1,929	4,493	2,860	2,948	2,675
卸売・小売業	1,145	1,155	1,143	1,150	1,158
運輸・郵便業	701	693	827	875	913
宿泊・飲食サービス業	321	320	282	286	302
情報通信業	344	359	370	389	584
金融・保険業	433	392	352	313	274
不動産業	2,483	2,471	2,535	2,511	2,496
専門・科学技術・業務支援サービス業	968	974	950	980	1,034
公務	2,044	2,294	2,640	2,898	3,287
教育	2,047	1,291	1,204	1,189	1,190
保健衛生・社会事業	2,185	2,241	2,245	2,349	2,415
その他のサービス	618	567	560	560	551

資料：宮崎県の市町村経済計算（宮崎県統計調査課）

【事業所数・従業者数製造出荷額等、付加価値額、現金給与総額】

年度	事業所数	従業者数 (人)	製造品 出荷額等 (百万円)	付加 価値額 (百万円)	現金給与 総額 (百万円)
平成25年度	24	408	484,404	204,608	88,521
平成26年度	25	369	432,510	178,660	83,818
平成28年度	21	344	454,417	158,222	76,830

資料：宮崎県の工業

【商店数・従業者数・年間商品販売額・販売面積】

	年度	平成19年度	平成26年度
総数	商店数(店)	114	84
	従業者数(人)	464	383
	年間商品販売額(万円)	683,276	628,081
卸売業	商店数(店)	9	12
	従業者数(人)	58	55
	年間商品販売額(万円)	121,536	127,159
小売業	商店数(店)	105	72
	従業者数(人)	406	328
	年間商品販売額(万円)	561,740	500,922
	売場面積(m ²)	7,550	6,034

資料：宮崎県の商業

【就業者規模別事業所数】

年度	総数		1～4人		5～9人		10～19人		20～29人		30人以上	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
平成21年度	423	2947	276	580	56	359	43	570	13	299	12	642
平成24年度	384	2286	258	575	64	409	38	499	15	354	9	449
平成28年度	363	2311	233	480	68	433	34	470	15	348	13	580

資料：経済センサス

【家畜飼養農家数、飼養頭羽数】

年次	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー		種鶏		地鶏	
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
平成26年	12	732	433	11,130	13	17,693	4	49,130	14	690,200	1	8,850	1	1,000
平成27年	11	607	392	10,912	10	14,832	2	23,000	13	667,100	1	8,500	1	6,000
平成28年	9	549	371	10,965	11	14,527	2	18,500	12	605,300	1	8,500	1	6,000
平成29年	10	601	366	11,256	11	12,305	2	17,500	13	676,600	1	8,500	1	6,000
平成30年	10	589	350	10,980	9	14,337	2	19,500	13	617,600	1	8,500	1	8,000

資料：農畜産振興課

町内の誘致企業

誘致年度	企業（工場）名	主要製品名
昭和46年	九州エス・エム・シー株式会社	合成樹脂かご（コンテナ・育苗箱等）・培養土
昭和59年	株式会社ソディック新横	コネクタ
昭和62年	株式会社アコー宮崎技術研究所・工場	振動計、音響測定器
昭和62年	株式会社芝田スプリング製作所宮崎工場	スプリング等
昭和63年	有限会社末山商会	観光みやげ製品（菓子類）
平成2年	有限会社竹下商事	婦人服縫製、加工
平成4年	サンヨーフラワー温泉	温泉保養施設
平成9年	大正ポリエチレン株式会社宮崎工場	食品容器（ポリエチレン）製造
平成12年	吉谷工業株式会社細野工場	スポーツ、レジャーシューズ等製造
平成18年	富士産業株式会社たかはるCK事業部	施設給食用カット野菜
平成18年	有限会社富永精密	金属金型加工・省力化機器部品製作
平成19年	株式会社ティーティーシー	電子部品製造
平成19年	株式会社芝田スプリング製作所メッキ工業	メッキ加工
平成22年	株式会社コムテック	繁殖牛及び肥育牛用配合飼料の製造・販売
平成22年	株式会社ミートインフォメーションネットワーク	食肉加工
平成23年	有限会社四位農園	野菜作農業、冷凍野菜等の製造
平成27年	株式会社西安	リサイクルプラスチック買付販売、プラスチック製品の製造
平成28年	株式会社西輝物流	一般貨物自動車運送業
平成29年	株式会社ビッグハウス	2×4パネルの製造、組立
平成30年	株式会社高嶺木材	一般建築材の製造

※ 平成31年3月末現在

資料：産業創生課



高原町の学校教育・社会教育

【小学校児童数、学級数、教員数】

区分 年次	校数	児童数 (人)							学級数				教員数 (人)
		総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	単式	複式	特別支援	
平成26年	4	434	73	67	73	77	70	74	29	21	4	4	50
平成27年	4	425	68	73	66	73	77	68	27	20	4	3	44
平成28年	4	447	78	69	77	67	76	80	29	22	4	4	47
平成29年	4	438	70	79	69	78	65	77	30	22	4	4	50
平成30年	4	431	68	71	79	69	78	66	28	20	5	3	48

資料：宮崎県統計年鑑（宮崎県統計調査課）



令和元年度高原町子ども未来議会

【中学校生徒数、学級数、教員数】

区分 年次	校数	生徒数 (人)				学級数				教員数 (人)
		総数	1年	2年	3年	計	単式	複式	特別支援	
平成26年	2	244	77	82	85	10	7	1	2	27
平成27年	2	232	73	77	82	10	8	0	2	30
平成28年	2	218	68	73	77	10	8	0	2	28
平成29年	2	228	84	70	74	11	8	1	2	28
平成30年	2	234	79	84	71	13	10	0	3	31

資料：宮崎県統計年鑑（宮崎県統計調査課）

【中学校卒業後の状況】

区分 年次	卒業者 (人)	高等学校等 進学者 (人)	専修学校等 (人)	就職者 (人)	左記以外の 者 (人)	高等学校等 進学率 (%)
平成26年	89	87	0	1	1	97.8
平成27年	84	84	0	0	0	100
平成28年	81	80	0	1	0	98.8
平成29年	78	78	0	0	0	100
平成30年	74	74	0	0	0	100

資料：宮崎県統計年鑑（宮崎県統計調査課）

【社会教育・社会体育施設一覧】

番号	名称	住所
1	高原町中央公民館	高原町大字西麓392番地
2	〃 図書室	〃
3	高原町教育集会所	高原町大字西麓1552番地1
4	高原町総合運動公園サッカー広場	高原町大字西麓709番地9 他
5	〃 ふれあい広場	〃
6	〃 ちびっこ広場	〃
7	〃 多目的芝生広場	〃
8	高原町中央運動公園	高原町大字広原4952の127
9	高原町民体育館	高原町大字西麓391番地2
10	高原町民体育館分館	高原町大字西麓340番地
11	旧高原中学校体育館	高原町大字西麓383番地



高原町総合運動公園サッカー広場

高原町の文化財

【文化財の状況】

文化財は、国指定5件、県指定2件、町指定6件、合計13件が指定されています。年代別にみると、大正時代に1件、昭和時代に3件、平成に入り9件が指定されました。

最新の指定状況は、2017年10月に町民体育館分館が昭和初期の建物の大規模な木造洋風建築物として指定されました。詳しくは下の表をご覧ください。

指定区分	種別	文化財名称	所有者	所在地	指定年月日
国	天然記念物	狭野の杉並木	狭野神社	蒲牟田字狭野	大正13年(1923)12月9日
		狭野神社ブッポウソウ繁殖地	狭野神社	蒲牟田字狭野	昭和9年(1934)5月1日
	有形文化財	旧黒木家住宅	宮崎県	宮崎県総合博物館民家園	昭和48年(1973)2月23日
	重要無形民俗文化財	高原の神舞	狭野神楽保存会 祓川神楽保存会	蒲牟田字狭野 蒲牟田字祓川	平成22年(2010)3月11日
	登録文化財(建造物)	高原町民体育館分館	高原町	西麓	平成29年(2017)10月27日
宮崎県	史跡	高原町古墳	高原町	皇子原公園内	昭和9年(1934)12月15日
	無形民俗文化財	苗代田祭(ベブがハホ)	狭野神社	蒲牟田字狭野	平成11年(1999)9月27日
町	史跡	日守地下式横穴群	個人	後川内字日守1-118	平成10年(1998)4月1日
		錫杖院墓地	霧島東神社	蒲牟田字祓川	平成13年(2001)2月13日
	有形文化財	広原池の原庚申碑	高原町教育委員会	池の原川堤防	平成10年(1998)4月1日
		長家文書	個人	西麓	平成13年(2001)12月13日
		狭野神楽面(12点)	狭野神楽保存会	蒲牟田字狭野	平成23年(2011)4月1日
	無形文化財	狭野の棒踊り	狭野棒踊り保存会	蒲牟田字狭野	平成10年(1998)4月1日



「高原の神舞」
(狭野神楽)



「高原の神舞」
(祓川神楽)

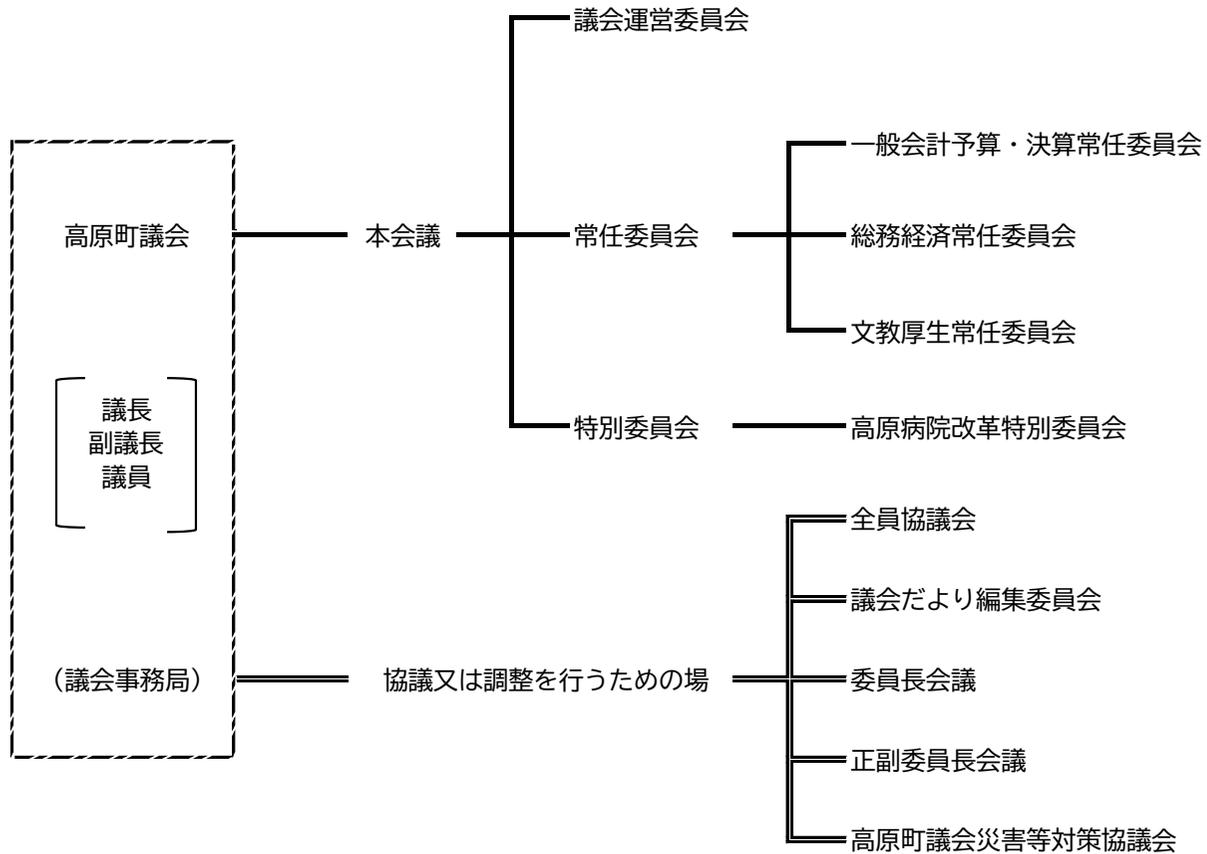


「狭野の棒踊り」

高原町の議会

【議会構成】

条例定数 10名



資料：議会事務局



議会報告会



行政調査

【高原町議会歴代議長】

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代～3	林宗太郎	昭和22年6月13日	昭和30年4月29日
4～5	林静二	昭和30年5月1日	昭和32年8月30日
6	末永長助	昭和32年8月30日	昭和33年7月9日
7	前田奨	昭和33年7月9日	昭和34年4月29日
8	林静二	昭和34年5月6日	昭和34年12月17日
9	須波久雄	昭和34年12月17日	昭和36年5月6日
10	東吉正	昭和36年5月6日	昭和38年4月29日
11・12	前田奨	昭和38年5月10日	昭和42年4月29日
13	永峯広信	昭和42年5月13日	昭和43年3月27日
14～16	前田奨	昭和43年3月27日	昭和48年5月1日
17	吉永勇吉	昭和48年5月1日	昭和50年4月30日
18	塩満光義	昭和50年5月8日	昭和51年5月6日

代	氏名	就任年月日	退任年月日
19	下園慶二	昭和51年5月6日	昭和52年4月27日
20	田中良昭	昭和52年4月27日	昭和52年5月7日
21	大迫健康	昭和52年5月7日	昭和54年4月30日
22・23	森山吉次	昭和54年5月9日	昭和57年4月7日
24・25	小久保義雄	昭和57年4月7日	昭和60年5月14日
26	有水稔	昭和60年5月14日	昭和61年1月9日
27	森山吉次	昭和61年1月21日	昭和62年4月30日
28・29	今西二雄	昭和62年5月7日	平成3年4月30日
30	原田清信	平成3年5月1日	平成4年9月22日
31・32	永山重男	平成4年9月22日	平成7年4月30日
33	田口繁義	平成7年5月1日	平成9年4月30日
34	武石邦雄	平成9年5月1日	平成11年4月30日

代	氏名	就任年月日	退任年月日
35	塩入安治	平成11年5月6日	平成12年4月20日
36	盛永友二	平成12年4月21日	平成13年5月1日
37	清水公雄	平成13年5月1日	平成15年4月30日
38	池田正治	平成15年5月1日	平成17年5月2日
39	永友重光	平成17年5月2日	平成19年4月30日
40	入佐廣登	平成19年5月1日	平成21年4月30日
41	北迫泉	平成21年4月30日	平成23年4月30日
42	森山勇	平成23年5月2日	平成25年1月30日
43	前原淳一	平成25年1月30日	平成27年4月30日
44	宮司勲	平成27年5月1日	平成31年4月30日
45	温谷文雄	令和元年5月7日	現在に至る

資料：議会事務局

【高原町議会歴代副議長】

代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	末永長助	昭和22年6月13日	昭和24年 月 日
2	今西榮次	昭和24年8月8日	昭和26年4月29日
3・4	末永長助	昭和26年5月8日	昭和30年4月29日
5・6	丸山年夫	昭和30年5月1日	昭和32年8月30日
7	上野藏吉	昭和32年8月30日	昭和33年7月9日
8	林静二	昭和33年7月9日	昭和34年4月29日
9	須波久雄	昭和34年5月6日	昭和34年12月17日
10	東吉正	昭和34年12月17日	昭和36年5月6日
11	上野藏吉	昭和36年5月6日	昭和38年4月29日
12	竹之下満盛	昭和38年5月10日	昭和40年5月10日
13	東吉正	昭和40年5月10日	昭和42年4月29日
14	下園慶二	昭和42年5月13日	昭和43年3月27日
15	森山吉次	昭和43年3月27日	昭和44年5月8日
16	吉田二郎	昭和44年5月8日	昭和46年4月30日
17	吉永勇吉	昭和46年5月11日	昭和48年5月1日

代	氏名	就任年月日	退任年月日
18	小久保義雄	昭和48年5月1日	昭和50年4月30日
19	桑原正夫	昭和50年5月8日	昭和51年5月6日
20	下村重義	昭和51年5月6日	昭和52年4月27日
21	日高光徳	昭和52年4月27日	昭和52年5月7日
22	下村重義	昭和52年5月7日	昭和54年4月30日
23	桑原正夫	昭和54年5月9日	昭和56年5月6日
24	田中良昭	昭和56年5月6日	昭和58年4月30日
25	有水稔	昭和58年5月11日	昭和60年5月14日
26	内村芳昭	昭和60年6月27日	昭和60年10月24日
27	日高光徳	昭和60年10月25日	昭和62年4月30日
28・29	田中良昭	昭和62年5月7日	平成3年4月30日
30	永山重男	平成3年5月1日	平成4年9月22日
31	田口繁義	平成4年9月24日	平成5年4月30日
32	田中良昭	平成5年4月30日	平成7年4月30日
33	武石邦雄	平成7年5月1日	平成9年5月1日

代	氏名	就任年月日	退任年月日
34	塩入安治	平成9年5月2日	平成11年4月30日
35	黒木勉	平成11年5月6日	平成12年4月20日
36	日高幸作	平成12年4月21日	平成13年5月1日
37	永友重光	平成13年5月1日	平成15年4月30日
38	丸山敏彦	平成15年5月1日	平成17年1月6日
39	北迫泉	平成17年1月11日	平成17年5月2日
40	勝吉明正	平成17年5月2日	平成19年4月30日
41	清水公雄	平成19年5月1日	平成21年4月30日
42	今西光正	平成21年4月30日	平成23年4月30日
43	清水公雄	平成23年5月2日	平成25年5月9日
44・45	入佐廣登	平成25年5月9日	平成29年4月30日
46	清水公雄	平成29年5月1日	平成31年4月30日
47	松元茂春	令和元年5月7日	現在に至る

資料：議会事務局

【歴代村長】

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	甲斐安	明治22年5月30日	明治24年10月13日
2・3	田口志朗	明治24年11月25日	明治29年4月17日
4	甲斐安	明治29年5月12日	明治32年12月20日
5~8	黒木昌友	明治33年1月13日	大正2年11月12日
9	瀬戸口長通	大正3年7月6日	大正4年8月25日
10	宮田耕造	大正4年9月14日	大正4年11月18日
11	猪俣連	大正5年3月6日	大正9年3月5日
12	橋口源次	大正9年3月6日	大正13年3月5日
13	永山千治	大正13年3月6日	昭和3年3月5日
14	野村嘉久馬	昭和3年3月6日	昭和6年8月26日

【歴代町長】

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代~4	野村嘉久馬	昭和6年9月30日	昭和21年4月2日
職務管掌	川上清	昭和21年5月15日	昭和21年6月24日
5	東政吉	昭和21年6月24日	昭和22年2月14日
6	今西周助	昭和22年4月5日	昭和26年4月2日
7	北迫栄吉	昭和26年4月28日	昭和30年4月30日
8	高妻彦恵	昭和30年5月1日	昭和32年9月12日
9~12	西川嘉次	昭和32年10月15日	昭和48年10月14日
13	今西周助	昭和48年10月15日	昭和52年10月14日
14~18	横田修	昭和52年10月15日	平成9年10月14日
19・20	朝比奈紀行	平成9年10月15日	平成17年10月14日
21~23	日高光浩	平成17年10月15日	平成29年10月14日
24	高妻経信	平成29年10月15日	現在に至る

【歴代助役及び副町長】

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	田口志朗	明治22年5月30日	明治22年6月22日
2	宮田正一	明治22年6月26日	明治26年1月29日
3・4	竹之下稔	明治26年2月7日	明治31年2月28日
5	藤田嘉次朗	明治31年4月5日	明治35年4月4日
6・7	永浜安之進	明治35年4月25日	明治43年4月27日
8・9	丸山孫次	明治43年5月26日	大正7年5月25日
10・11	永山千治	大正7年6月7日	大正13年3月5日
12	黒木清次	大正13年3月29日	昭和3年3月28日
13~18	高妻彦恵	昭和3年6月16日	昭和21年11月8日
19	北迫栄吉	昭和22年2月14日	昭和26年3月12日
20・21	西川嘉次	昭和26年5月26日	昭和32年9月30日
22~24	丸山久信	昭和32年10月25日	昭和44年10月24日
25	下園正水	昭和45年2月7日	昭和49年2月6日
26	浜田長文	昭和49年4月1日	昭和52年10月14日
27	丸山元志	昭和52年12月26日	昭和56年12月25日
28~31	西篤彦	昭和57年1月20日	平成9年9月30日
32・33	永田文一	平成9年10月24日	平成17年10月14日
34	山之内点	平成17年11月10日	平成20年3月31日
35	福留宣文	平成20年4月1日	平成24年3月31日
36	永田健一	平成24年4月1日	平成28年3月31日
37	横山安博	平成28年4月1日	平成29年10月14日
38	蒲生隆美	平成29年11月1日	現在に至る

【歴代収入役】

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	丸山嘉次朗	明治22年6月11日	明治22年8月5日
2	瀬戸口長通	明治22年9月12日	明治25年3月23日
3	黒木仲次朗	明治25年3月26日	明治29年3月25日
4~8	丸山嘉次朗	明治29年3月28日	大正2年11月12日
9・10	福永未吉	大正3年4月13日	大正11年4月15日
11・12	高妻彦恵	大正11年4月16日	昭和3年6月12日
13	黒木三二	昭和3年7月18日	昭和7年7月17日
14~17	北迫栄吉	昭和7年7月18日	昭和22年2月14日
18	押領司光信	昭和22年6月27日	昭和25年12月2日
19	末永栄二	昭和25年12月2日	昭和32年10月22日
20	丸山年夫	昭和32年12月25日	昭和34年4月11日
21~23	下園正水	昭和35年5月2日	昭和45年2月7日
24・25	丸山元志	昭和45年2月7日	昭和52年10月14日
26	原幸夫	昭和53年1月10日	昭和57年1月9日
27	日高美	昭和57年1月20日	昭和61年1月19日
28~30	朝比奈紀行	昭和61年4月1日	平成9年3月31日
31・32	江田支征	平成10年3月12日	平成17年10月14日

【名誉町民】

昭和34年	野村嘉久馬
昭和39年	高妻彦恵
昭和50年	北迫栄吉
昭和58年	西川嘉次
昭和59年	今西周助
平成16年	横田修
平成26年	朝比奈紀行

【普通会計年度別決算額】

歳入

(単位：千円)

区分	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
町 税		718,739	720,252	761,790	779,856	785,953
地方譲与税		73,593	76,912	77,257	76,970	77,644
利子割交付金		923	853	527	898	892
配当割交付金		3,204	2,545	1,131	1,792	1,495
株式等譲渡所得割交付金		1,855	2,199	1,054	1,737	1,714
地方消費税交付金		95,923	173,089	152,361	157,641	163,256
ゴルフ場利用税交付金		2,683	2,750	2,942	2,863	2,696
自動車取得税交付金		5,187	8,981	8,727	14,440	13,429
地方特例交付金		2,241	2,516	2,674	3,289	3,743
地方交付税		2,635,421	2,658,972	2,496,087	2,389,262	2,364,753
交通安全対策特別交付金		1,838	1,930	1,834	1,880	1,746
分担金及び負担金		87,412	91,617	74,519	68,667	75,863
使用料及び手数料		53,661	51,538	50,676	52,455	52,157
国庫支出金		486,555	567,324	773,230	592,954	558,186
県支出金		448,009	488,091	588,911	627,863	483,071
財産収入		9,755	14,779	24,447	97,773	24,063
寄付金		64,505	303,651	328,864	311,857	185,345
繰入金		497,839	171,349	161,193	391,775	609,944
繰越金		35,663	57,427	72,644	64,660	70,557
諸収入		147,131	138,681	144,945	173,648	149,470
町債		521,858	728,385	684,141	498,030	565,683
合計		5,893,995	6,263,841	6,409,954	6,310,310	6,191,660

歳出

(単位：千円)

区分	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
議会費		73,519	74,961	70,094	72,908	73,883
総務費		1,259,051	1,389,541	1,388,014	1,442,821	1,305,583
民生費		1,570,492	1,580,620	1,743,286	1,655,683	1,600,344
衛生費		539,141	754,695	611,944	585,355	686,692
労働費		2,491	0	0	0	0
農林水産業費		431,591	498,055	454,765	592,708	612,432
商工費		171,570	149,310	164,371	209,362	210,429
土木費		408,284	465,272	588,118	448,761	378,446
消防費		121,616	131,435	165,871	45,524	59,778
教育費		360,811	357,996	415,351	426,800	483,593
災害復旧費		32,039	14,518	16,449	20,014	19,144
公債費		795,363	714,657	627,031	628,457	595,609
諸支出金		10,600	10,137	50,000	61,360	67,363
合計		5,776,568	6,141,197	6,295,294	6,189,753	6,093,296

資料：総務課

【町税の推移】

(単位：千円)

年度	収入総額	町民税	固定資産税	軽自動車税	たばこ税	その他
平成26年度	718,739	261,816	375,789	32,568	48,025	541
平成27年度	720,252	280,368	360,637	32,553	46,084	610
平成28年度	761,790	291,681	385,049	38,985	45,496	579
平成29年度	779,856	302,694	393,778	40,002	42,766	616
平成30年度	785,953	311,103	391,339	40,838	41,897	776

資料：税務課

【特別会計の年度別決算額（歳入・歳出）】

(単位：千円)

区分	年度	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
		歳入	歳出								
住宅新築資金等貸付事業		8,008	8,007	830	828	863	862	11,868	11,855	853	853
国民健康保険		1,683,472	1,612,865	1,831,430	1,704,218	1,802,072	1,752,008	1,754,509	1,673,453	1,546,203	1,524,866
農業集落排水事業		23,595	22,996	45,393	44,229	23,951	22,934	26,681	24,619	27,703	24,702
介護保険事業 保険事業勘定		1,197,839	1,128,151	1,195,715	1,165,593	1,131,102	1,076,906	1,201,670	1,151,210	1,255,353	1,215,206
介護保険事業 サービス事業勘定		5,217	4,324	4,761	4,118	4,448	4,073	4,429	4,190	4,232	3,585
後期高齢者医療		311,365	307,123	305,575	301,641	307,645	303,257	311,013	305,203	306,586	301,952

資料：総務課

【公営企業会計決算額】

収益的収支

(単位：千円)

区分	年度	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
		収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出
水道事業		193,032	188,464	197,510	191,121	194,420	181,282	197,671	185,857	193,872	178,878
病院事業		864,822	1,170,966	1,152,230	930,084	955,190	971,766	963,136	975,310	1,004,825	981,355

資本的収支

(単位：千円)

区分	年度	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
		収入	支出								
水道事業		20,419	86,336	19,692	92,562	19,701	96,183	25,120	90,176	65,151	116,310
病院事業		24,981	78,727	22,764	83,138	23,257	76,348	25,726	56,738	26,976	72,751
工業用水道事業		2,285	2,285	2,285	2,285	2,019	2,019	2,049	2,049	2,049	2,049

資料：総務課

高原町の主なあゆみ

西 暦	年 号	事 項
1553	天文 22年	高原郷は北原氏の領有となる。
1555	天文 24年	高原郷は伊東氏の領有となる。
1576	天正 4年	島津氏が高原城を攻略する。
1601	慶長 3年	島津義弘の命で新納武蔵守忠元が狭野杉を植栽する。
1612	// 17年	高原郷より東霧島・江平を高城郷に移した。
1680	延宝 8年	高原郷より、前田村・大牟田村・縄瀬村を割き高崎郷とした。 小林郷より広原村を野尻郷より水流村を高原郷に付けた。
1869	明治 2年	高原学校（高原小学校の前身）が地藏院跡に開設
1870	// 3年	高崎郷がまた高原郷に合併
1871	// 4年	廃藩置県により高原郷は鹿児島県に属した。その後、都城県に属する。 高原小学校が地頭仮屋跡（今の遍照寺のところ）に移転
1873	// 6年	都城県を廃して宮崎県となる。 狭野小学校を字前野に開設
1874	// 7年	後川内小学校を字石ヶ野に開設 広原小学校を字八久保に開設
1876	// 9年	地租改正のため郷内の検地が行われた。 宮崎県が廃して再び鹿児島県に属した。
1883	// 16年	宮崎県が再置され、高原郷は宮崎県北諸県郡に属した。
1884	// 17年	西諸県郡が誕生し、高原郷もこれに属した。 （郡役所は小林）
1888	// 21年	市制・町制が公布された。
1889	// 22年	町村制が公布された。 5月1日に高原村が誕生（西麓村・後川内村・蒲牟田村・広原村は大字となった。） 戸長制を廃し、村長・助役制となる。
1913	大正 2年	宮崎線小林～谷頭間開通に伴い高原駅が開業

西 暦	年 号	事 項
1913	大正 2年	村内の中央部に電灯がつく（猿瀬発電所設立）。
1916	// 5年	宮崎本線 吉松～宮崎開通
1917	// 6年	高原小学校が現在地に移転
1918	// 7年	村内小学校に農業補習学校を併設 日豊本線より吉都線に分離
1919	// 8年	広原小学校現在地に移転 蒲牟田尋常小学校を狭野小学校に改称
1920	// 9年	宮崎県種畜場が並木に創設
1925	// 14年	後川内小学校に高等科設置
1927	昭和 2年	村内に電話が架設
1930	// 5年	後川内小学校が現在地に移転
1932	// 7年	経済厚生村の指定
1933	// 8年	狭野小学校が現在地へ移転
1934	// 9年	霧島国立公園指定 高原村役場改築（9月30日）。総工費2万3千余円をかけ内容外観ともに日本一を誇った。 高原町町制施行（10月5日） 仏法僧（ブツポウソウ）が天然記念物に指定
1935	// 10年	町制施行を記念して高原郷土史を発行 青年訓練所・農業補習学校を廃し、青年学校を発足
1936	// 11年	高原小学校講堂建設（現在の町民体育館分館）
1938	// 13年	祖国振興隊が結成
1941	// 16年	町内各小学校はそれぞれ国民学校と改称
1944	// 19年	沖縄県那覇市より集団疎開児童158人が町内各小学校に到着、町内各国民学校で疎開生活に入る。 高原古墳（皇子原）県史跡に指定

西 曆	年 号	事 項
1947	昭和 22年	教育基本法・学校教育法制定により町内の国民学校はそれぞれ小学校と改称 高原中学校開校（後川内分校）。高原町消防団結団
1948	// 23年	高原町警察署開庁。開拓道路建設
1950	// 25年	上水道水源地工事に起工。後川内中学校独立 常盤台分校を開校。広原郵便局開局。町立病院開院
1951	// 26年	自治体警察署廃庁。
1952	// 27年	町教育委員会発足（公選委員）。県立高原畜産高校設置
1953	// 28年	高原畜産高等学校開校。鹿児島水道建設
1954	// 29年	広原簡易水道新設。町制施行20周年記念 後川内道路建設。
1955	// 30年	霧島集約酪農地域指定。
1956	// 31年	郡市下水道事業着手（昭和42年完了）。 教育委員が任命制となる。高原町・野尻町間にバス開通
1957	// 32年	上水道第一次拡張事業（蒲牟田地区） 狭野簡易水道新設。温水平簡易水道建設 後川内方面へのバス開通（高原駅～東原間） 都市下水道事業に着手。後川内郵便局開局
1958	// 33年	高原中学校本館建設。東原橋建設。川平水道建設 かんがい排水事業着手（7,754m）
1959	// 34年	町制25周年記念果樹植栽（柿） 御池キャンプ村開設。新燃岳噴火（2月17日）
1960	// 35年	町社会福祉協議会開設 第一次防災営農事業着手（昭和39年完了） 基盤整備事業着手。高原町商工会設立
1961	// 36年	高原中学校校舎改築。御納戸橋建設 南九州防災営農対策事業着手（昭和39年完了）
1962	// 37年	吉都線に広原簡易駅開業。町章を制定 第一次農業構造改善事業着手（花堂・蒲牟田地区）

西 曆	年 号	事 項
1963	昭和 38年	小規模草地造成改良事業着手（昭和39年完了） 総合実験農場設置事業（鹿児島山地区） 高原小学校二階建校舎改築（10教室）
1964	// 39年	町制30周年を記念して町民歌・高原音頭制定 高原中学校特殊学級開設。町民体育館建設 霧島国立公園に屋久島地区を加え霧島屋久国立公園と改称
1965	// 40年	肉用牛振興地域指定 酪農近代化計画推進事業認定 第二次防災営農推進事業着手（昭和44年完了） 駅前街路建設着手、延長404m、幅16m（昭和45年完了）
1966	// 41年	後川内小学校・中学校体育館建設。狭野郵便局開局 常盤台小学校独立。狭野小学校校舎改築 農村地域集団電話第一次設置（279台）
1967	// 42年	農村保全事業着手。常盤台小学校増改築 町道を失業対策事業により簡易舗装着手 町立病院診療棟改築 上水道第三次拡張事業（下広原地区）
1968	// 43年	広原小学校体育館新築。高原中学校校舎改築 南九州畑作振興地域指定
1969	// 44年	狭野保育所開設。下川原橋・湯之元橋架替 柳町公営住宅建設（12戸）。狭野小学校体育館新築 第一次農業構造改善事業（中平地区） 後川内中学校校舎新築 寝たきり老人ホームヘルパー制度発足
1970	// 45年	後川内小学校校舎改築 九州縦貫道小林～高原間路線発表 高原小学校二階建校舎改築（10教室） 中央公民館新築。町道舗装工事開始

西 曆	年 号	事 項
1970	昭和 45年	農村地域集団電話第二次設置 (1,076台)
1971	// 46年	狭野児童館開設。後川内保育所開設 高原町養護老人ホーム (峰寿園) 建設 果樹広域濃密生産団地指定。野菜新産地指定 (里いも) 新農業振興計画推進事業着手。後川内簡易水道新設 上水道第四次拡張事業 配水500m ³ ベンチュリー工事 (湯之崎地区) 高原町総合計画策定 (基本構想) 過疎地域指定され過疎地域振興計画策定 小林えびの西諸広域市町村圏計画策定
1972	// 47年	老人福祉館開設。高原中学校特別教室改築 乳用牛改良促進特別対策事業 ハイレベル10頭 飼料基盤特別対策事業着手 (昭和48年完了) 農業振興地域整備事業着手 (昭和48年完了) 集約酪農振興地域指定。西諸広域消防南分遣所開設
1973	// 48年	肉用牛生産振興地域指定。高原中学校体育館新築 町木タチバナ、町鳥仏法僧、町花キリシマツツジを指定 狭野小学校管理棟4教室改築。役場庁舎新築移転 常盤台小学校廃校、高原小学校へ統合 町立病院第一病棟 (一般病棟26床・結核病棟36床) 改築 秋川・湯之元地区簡易水道新設 三栄 (株) 操業開始
1974	// 49年	母子健康センター建設。町都市計画用途地域の決定 広原保育所開設。(株) モードサイガ操業開始
1975	// 50年	西広原地区簡易水道給水開始
1976	// 51年	霧島美化センター事務組合設立 (高原町、野尻町、須木村) 霧島美化センターごみ焼却場建設工事着工 九州縦貫自動車道えびの～高原間29km開通

西 曆	年 号	事 項
1976	昭和 51年	野菜新産地指定 (ピーマン)。皇子原国民釣り場開設。
1977	// 52年	小林・野尻・高原衛生事業事務組合設立 小林・野尻・高原衛生事業事務組合し尿処理場建設着工 霧島美化センターごみ焼却場完成 九州ユービー (株) 操業開始
1978	// 53年	後川内中学校体育館新築。並木児童館建設 小林・野尻・高原衛生事業事務組合し尿処理場完成
1979	// 54年	農村基盤総合整備事業着手 (後川内地区) 新農業構造改善事業着手 (川平地区、昭和57年完了) 肉用牛生産振興地域指定。川西産業 (株) 操業開始 宮崎高原町友会発足
1980	// 55年	農村基盤総合整備事業着手 (入木地区) 高原町新総合計画策定。高原町過疎地域振興計画策定 新西諸広域市町村圏計画策定
1981	// 56年	農村総合整備計画策定 九州縦貫自動車道宮崎線全線開通 並木・出口線街路及び道路改良事業着手
1982	// 57年	農村総合整備モデル事業実施計画策定 狭野地区児童プール建設。高千穂都市下水路完成 農免道路 (高塚地区) 着手
1983	// 58年	新農業構造改善事業着手 (湯之元地区) 杉山製作所誘致。阿野良地区排水路建設 皇子原いこいの広場建設計画策定 農村総合整備モデル事業着手
1984	// 59年	西諸広域葬祭センター建設着手 (昭和59年完了) 高原小学校体育館完成 町制施行50周年式典 (10月6日)

西 暦	年 号	事 項
1984	昭和 59年	新農業構造改善事業着手（下広原地区） 皇子原公園第一期工事着手。高原町民憲章制定 高原町出身蒲池猛夫選手ロサンゼルスオリンピックピストル射撃で金メダル
1985	// 60年	高速バス「はまゆう号」高原インター停車開始 タイムカプセル「霧島」役場庭に埋設 活力ある郷土づくり町民会議発足 下後川内農村休養センター建設。（株）ロック操業開始
1986	// 61年	国鉄バス高原駅～下後川内線廃止 防災行政無線通信施設設置。県営高塚農免道路完成 県高校新人駅伝競走大会小林～高原間で初開催 （株）KHS操業開始
1987	// 62年	上町都市下水事業。南九州中部地域振興協議会発足 畜産振興センター建設（出口地区） 西ドイツスポーツ少年団と国際交流を図る。
1988	// 63年	霧島北部広域農道（祓川入口）着手 町立病院にコンピューター導入。（株）アコー操業開始 高齢者工芸センター建設。（有）末山商会操業開始 花堂むらおこしセンター建設 （有）芝田スプリング製作所操業開始 都城地区「高原会」発足（8月） 関西高原町友会発足（9月） 九州エス・エム・シー（株）操業開始
1989	平成 元年	高原町置村100周年。役場庁舎南側増築 高原派出所高原駅より現在地へ移転新築 フルリレーマラソン世界記録達成（1時間55分09秒） 高原町が全国優良町として表彰 建設省砂防ゾーン創出事業（たかはる清流ランド）着工（平成8年7月完成）

西 暦	年 号	事 項
1989	平成 元年	簡易人間ドック助成事業開始 （有）よしたにクロージング操業開始
1990	// 2年	第三次総合計画策定 過疎地域福祉交通特別対策事業 乗合タクシー運行開始 第1回神武の里総合武道大会開催（剣道、柔道、四半的弓道、弓道、空手道の5種目） 養護老人ホーム峰寿園完成（5月18日） 高原町身体障害者共同作業所完成 （有）竹下商事レディースファッション操業開始
1991	// 3年	合併浄化槽の補助事業開始。町立病院にリハビリ棟完成 新燃岳臨時火山情報発令（11月13日） 鹿児島山農業構造改善センター完成 中平農免農道着工。（株）フィート操業開始
1992	// 4年	農業集落排水事業着手（広原北部地区） 生涯学習モデル市町村として文部省指定 県営水環境事業着工（北狭野小路地区） 高原小学校コンピューター棟完成 サンヨーフラワー温泉操業開始 宮崎フリーウェイ工業団地造成事業の基本協定調印 教育文化ゾーン整備事業着手 狭野小学校体育館完成（2月） 広原小学校コンピューター室完成（3月） 県立高原畜産高等学校が県立高原高等学校に校名変更
1993	// 5年	皇子原公園オープン記念式典（4月27日） 皇子原公園オープン記念イベント（8月28日） 狭野小学校コンピューター室、図書室完成（12月） 後川内小学校コンピューター室、音楽室完成（12月）
1994	// 6年	広域消防南分遣所改築

西 暦	年 号	事 項
1994	平成 6年	神武大橋全長109m、幅員8m完成 在宅老人デイサービス運営事業開始 町制施行60周年記念式典（10月5日） 宮崎フリーウェイ工業団地建設推進協議会設立
1995	// 7年	出口農業構造改善センター完成 上広原、上後川内多目的活動施設完成 農業構造改善事業着手（出口区、平成8年完了） 農業集落排水処理施設完成（広原北部地区） 終戦50周年記念戦没者慰霊碑建立（忠霊塔）
1996	// 8年	蒲牟田橋、全長60m・幅員10m災害復旧工事完了 老人デイ・ケア施設豊寿館オープン 関東高原町友会発足（5月）。国営西諸畑かん事業着手 高原町出身プロボクサー本田秀伸選手日本ジュニアフライ級（現日本ライトフライ級）チャンピオン 県営担い手育成基盤整備事業着手（湯之元地区）
1997	// 9年	宮崎フリーウェイ工業団地造成事業着手 高原中学校校舎教育文化ゾーンに新築移転完成 萩川神楽殿完成。大正ポリエチレン（株）操業開始 霧島北部広域農道供用開始
1998	// 10年	高原中学校体育館・プール新築移転完成 高原町女性団体連絡協議会発足（5月） 県営ふるさと農道緊急整備事業着手（川平地区）
1999	// 11年	高原中学校弓道場完成。後川内小学校体育館完成 宮崎フリーウェイ工業団地造成完了（3月） 県営担い手育成整備事業完了（湯之元地区） 苗代田祭（ベブがハホ）が宮崎県無形民俗文化財に指定 町制施行65周年記念事業、町民総合スポーツレクリエーション大会開催 町制施行65周年記念式典開催

西 暦	年 号	事 項
1999	平成 11年	後川内中学校創立50周年記念式典開催 狭野杉植栽400年記念式典開催
2000	// 12年	宮崎フリーウェイ工業団地に（有）旭ミールサービスが進出 高原ライオンズクラブ結成30周年記念式典開催 高原駅を全面改築、竣工記念式典開催 吉谷工業株式会社操業開始。高原町第四次総合計画策定 霧島美化センター事務組合一般廃棄物最終処分場建設着手 猿瀬橋架け替え工事完了、開通記念式典開催
2001	// 13年	県営ほ場整備事業担い手育成型着手（狭野地区） 町優良肉用牛保留奨励事業100頭目達成 町総合保健福祉センター建設に着手。並木出口線開通 町ホームページ開設。中平公民館完成 高原高等学校が韓国の発安農生命産業高等学校と姉妹校結縁 高原小学校新プール完成 町総合保健福祉センターほほえみ館開館
2002	// 14年	ふるさと農道緊急整備事業川平地区完成 蒲牟田活性化センター完成。後川内小学校新プール完成 霧島美化センター事務組合一般廃棄物最終処分場完成 高原町赤十字奉仕団結成40周年 町優良肉用牛保留奨励事業200頭目達成 高原中学校が韓国大川中学校と姉妹校結縁 町総合保健福祉センターほほえみ館大研修ホール建設着手 プロボクサー本田秀伸選手世界タイトルマッチに挑戦 第1回霧島登山マラソン大会開催 町営住宅霧島団地新築完成
2003	// 15年	西諸地域市町村任意合併協議会設立 狭野神楽が宮崎県無形民俗文化財に指定

西 暦	年 号	事 項
2003	平成 15年	ひむか神話街道開通（天の岩戸神社～皇子原公園） 宮崎県立専門高校を高原町に誘致する決起大会開催 町優良肉用牛保留奨励事業300頭目達成 町総合保健福祉センターほほえみ館神武ホール完成
2004	// 16年	高原町商工会移転新築完成 小林市・野尻町・須木村・高原町合併協議会設立 狭野簡易水道と町上水道が統合 第12回大淀川サミットが本町で開催 町制施行70周年記念式典開催 町制施行70周年記念神武の里たかはる町民大運動会開催 過疎地域福祉交通特別対策事業乗合タクシー役場～小久保線運行開始 第27回宮崎県育林祭開催（皇子原公園） 町優良肉用牛保留奨励事業400頭目達成 広原小学校PTA文部科学大臣賞受賞 法定合併協議会「東霧島合併協議会」を野尻町と設立
2005	// 17年	Jリーグザスパ草津（J2）本町で春季キャンプ（18年まで） 高原町議会、野尻町との合併関連議案否決 西広原活性化センター完成 第34回宮崎県耳の日記念大会を本町で開催 花堂区集落営農組合設立（5月） 営農基盤整備事業湯之元地区完成 20数年ぶりに後川内夏祭り復活開催 第33回宮崎県子ども会育成大会を本町で開催 第38回宮崎県レクリエーション祭が本町で開催（グラウンドゴルフ競技）
2006	// 18年	宮崎フリーウェイ工業団地に富士産業株式会社が進出 町立病院改築工事着工（平成19年完成、診療開始）

西 暦	年 号	事 項
2006	平成 18年	町まちづくり検討委員会を設置、開催、報告書提出 全国学校ビオトップコンクール2005発表会で後川内小学校が奨励賞受賞 霧島狭野原営農組合、狭野営農組合、湯之元営農組合設立（3月） 本町出身吉田健司選手がボクシング日本フライ級タイトルマッチで第50代チャンピオン（2度の防衛成功） 町優良肉用牛保留奨励事業500頭目達成 湯之元土地改良区が農用地等集団化推進優良地区として農林水産大臣表彰を受賞 県営経営体基盤整備事業宇都地区着工 大谷工業団地に有限会社富永精密が進出 特定非営利活動法人日本で最も美しい村連合に加盟 第55回全国青年大会フットサル競技で本町青年団が準優勝 蒲牟田営農組合、宇都営農組合設立（12月）
2007	// 19年	ふるさと林道皇子原夷守台線開通 たかはるふるさと大使に13名委嘱 株式会社ティーティーシーが広原に進出 全国和牛能力共進会（鳥取県）県代表として入佐久男氏が出品。第7区総合評価群優等賞首席、日本一を獲得 第1回環霧島会議開催（霧島市） 第56回全国青年大会野球競技で本町青年団が初優勝 中平農免農道開通。広原営農組合設立（4月）
2008	// 20年	宮崎フリーウェイ工業団地に株式会社芝田スプリング製作所が進出 小林市・高原町・野尻町合併協議会設立（4月） 農事組合法人はなどう設立（5月） 宮崎県総合防災訓練が町総合運動公園を主会場に実施 大谷工業団地に有限会社昇蒲金属工業が進出 全国高等学校総合体育大会重量挙げ105kg超級で本町鹿見山在住下村裕太氏（小林秀峰高校）が優勝

西 暦	年 号	事 項
2008	平成 20年	高原町産種雄牛神之郷号誕生 霧島ジオパーク推進連絡協議会発足 健康日本21推進高原大会開催 関西高原町友会が設立20周年
2009	// 21年	小林市・野尻町・須木村・高原町合併協議会廃止 第4回環霧島会議、環霧島広域連携シンポジウムを本町で開催 景観行政団体に参画。農産直売所社の穂倉オープン 町制施行75周年記念式典開催 町制施行75周年記念水と緑と神話の里大運動会開催 南狭野活性化センター完成 第22回全国スポーツレクリエーション祭「スポレクみやざき2009」のグラウンドゴルフ競技が本町で開催 祓川神楽と狭野神楽が「高原の神舞」として国重要無形民俗文化財に指定 上後川内・川平営農組合設立（2月） 下後川内営農組合設立（2月） 常盤台活性化センター完成。北狭野神武ふるさと館完成 宮崎県内で口蹄疫発生（4月20日）、終息（8月27日） 霧島ジオパークが日本ジオパークとして認定 宮崎フリーウェイ工業団地に株式会社コムテックが進出 第18回バイブスミーティングin宮崎が本町で開催 宮崎フリーウェイ工業団地に株式会社ミートインフォメーションネットワークが進出
2010	// 22年	新燃岳52年ぶりの大噴火（1月26日）、避難勧告発令（1月30日）、避難勧告全面解除（2月15日） 宮崎フリーウェイ工業団地に有限会社四位農園が進出 BTVケーブル株式会社とブロードバンド施設の賃貸借に関する契約締結 県営畑地帯総合整備事業（鹿児島山地区）事業着手
2011	// 23年	JR吉都線開業100周年。高原町第五次総合計画策定 高原町情報局たかはる神武スタジオ開局
2012	// 24年	

西 暦	年 号	事 項
2012	平成 24年	平成24年全国広報コンクールで広報たかはる3月号が組み写真部門で1席に入選 町ゆるキャラ「たかぼー」「はるちゃん」着ぐるみ完成 ビール「穂倉金生」がインターナショナルビアコンペティション2012のジャーマンピルスナー部門で金賞受賞 日本で最も美しい村連合2012フェスティバルin高原開催 新燃岳噴火百人の記録を編さん。県立高原高等学校が閉校
2013	// 25年	高原地区学校支援地域本部「平成24年度優れた地域による学校支援活動」文部科学大臣表彰を受賞 高原駅開業100周年、記念事業実施 子育て支援センター開所。高原町スポーツ賞創設 町種雄牛「義美福」誕生 県営畑地帯総合整備事業（後川内地区）事業着手
2014	// 26年	第1回日本発祥地まつり開催 「ディスカバー農山漁村むらの宝」の優良事例に農事組合法人はなどうが選定 日本三奇観光パートナーシップ協定書締結（宮城県塩竈市「四口の神龍」、兵庫県高砂市「石乃竈殿」、高原町「天之逆針」） 小塚活性化センター完成 町制施行80周年記念式典開催（10月5日） ソラシドエア機体活用プロジェクトを活用して「霧島山のふもと たかはる号」を1年間就航 町ご当地ナンバープレート交付開始 高原町地域公共交通総合連携計画策定 第1回高原町長旗争奪中学生剣道大会開催
2015	// 27年	第5回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会町村の部で初優勝 宮崎フリーウェイ工業団地に株式会社西安が進出 新嘗祭献穀式に農事組合法人はなどうが献上

西 暦	年 号	事 項
2015	// 27年	高原町人口ビジョン、総合戦略策定 高原町ふるさと納税リニューアル
2016	// 28年	鹿児島出身女子プロゴルファー大迫たつ子さん宮崎県県民栄誉賞受賞 児童養護施設「石井記念神武の家」開所 農事組合法人ハイランドきりしま設立(6月) 町鳥「仏法僧」30年ぶりに飛来確認 議会イントラネット中継開始。乳幼児一時預かり事業開始 井ノ原遺跡、川路山遺跡本調査 高原町教育振興基本計画策定
2017	// 29年	町移住定住PR動画「God Walk in takaharu」完成 宮崎フリーウェイ工業団地に株式会社西輝物流が進出 皇子原大橋完成(橋長41m、幅員5m) 馬登二葉営農組合設立(7月) 宮崎フリーウェイ工業団地に株式会社ビッグハウスが進出 6年ぶりに新燃岳噴火(10月11日) 町民体育館分館が国登録有形文化財に登録 女性消防団員誕生 高原町商工会が中小企業庁長官表彰を受賞
2018	// 30年	農事組合法人はらいがわ設立(7月) 井ノ原遺跡で縄文時代早期の首飾りが出土 国営土地改良事業西諸一期地区(ダム)事業完了 学校給食費半額補助開始
2019	// 31年 令和 元年	霧島ジオパークが日本ジオパークに再認定 新元号発表・御代替わり奉祝 高千穂峰登山会(4月1日、5月1日) 高原町手話言語条例施行 高原町健康づくり推進条例施行 農事組合法人まのぼり二葉設立

西 暦	年 号	事 項
2019	令和 元年	宮崎県立看護大学と保健・医療・福祉・教育・学術など包括連携協定を締結 宮崎フリーウェイ工業団地に高嶺木材が進出 たかはる自然エネルギー利用推進協議会設立 町制施行85周年記念式典開催 町無料職業紹介所開設 フルリレーマラソン開催 高原町子ども未来議会開催 並木公民館完成 Smart Wellness City首長研究会入会

高 原 町 民 憲 章

わたしたちは、高千穂の峰をはじめとする美しい自然の中に生き、住み良く、豊かで、生きがいのある郷土を築くため、この憲章を定めます。

1. 雄大で美しい郷土を愛しみんなでこれを守りましょう
1. 心身ともに健康で明るい家庭をつくりましょう
1. 豊かな教養を身につけみんなで文化を築きましょう
1. 互いに助け合い平和で明るい町をつくりましょう
1. 働くことに誇りを持ち豊かな町に育てましょう

昭和59年8月1日 制定



the most beautiful
villages
in japan
「日本で最も美しい村」連合

「日本で最も美しい村」連合

「日本で最も美しい村」連合は、素晴らしい地域資源を持ちながら過疎にある美しい町や村が、「日本で最も美しい村」を宣言することで自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行うこと、住民によるまちづくり活動を展開することで地域の活性化を図り、地域の自立を推進することまた、生活の営みにより作られてきた景観や環境を守り、これらを活用することで観光的付加価値を高め、地域資源の保護と地域経済の発展に寄与することを目的としています。

高原町は、この「日本で最も美しい村」連合に、平成18年10月4日加盟しました。

霧島ジオパーク推進協議会

「ジオパーク」とは、地球（ジオ）の活動遺産を主な見どころとする自然の中にある公園のことです。火山や活断層など特徴ある「地質遺産」を保護するとともに、長い歴史の中での人の暮らしや文化との結びつきを学び、楽しむことを目的としています。

日本で最初に指定された国立公園「霧島山」のその類い稀な地質遺産を保護・普及するため、都城市、小林市、えびの市、霧島市、曾於市、高原町の5市1町の行政機関や関係機関と共に、平成20年に「霧島ジオパーク推進連絡協議会」が結成されました。

平成22年には日本ジオパークネットワーク（JGN）に「霧島ジオパーク」として加盟しました。高原町も「霧島ジオパーク」の構成市町として霧島の魅力発信に取り組んでいます。



町旗



町シンボルマーク



町花「みやまきりしま」



町木「たちばな」



町鳥「ぶっぼうそう」

